

住みたい、行きたい、
帰りたい、やさしい絆のまち

見附市の概要

「暮らし満足No.1のまち」
を目指して



見附市で「みつかる」。
持続可能なまちの姿！

みつかる 見附市視察・観光ナビ
<https://www.mitsukaru-mitsuke.jp/>



見附市の主な取り組み ①「まちと産業を元気にする」

移住・定住の促進

中古住宅紹介サイト「豊かな住まい」では、市内の空き家情報を掲載。空き家の有効活用を促進し、市への定住の促進を図っています。

<https://sumai-mitsuke.com>

「豊かな住まい」
成約率 **77%**



移住定住応援サイト「ハピネスみつけ」では、見附に移り住んできた方々のインタビューなど、移住を考えている人が知りたい住まいや仕事などの情報を発信しています。

<https://happiness-mitsuke.jp>



ウェルネスタウンみつけ

公共用地
52%

「スマートウェルネスみつけ」など、市が進める健康施策を具体化・見える化した住宅地。産学官のトップが知恵を出し合い、「景観」「健康」に配慮した先進的な住宅地です。



3つの公園（広場）や最大幅10mのプロムナード（緑化帯）を2箇所整備するなど、ゆとりのある空間を演出。無電柱化により空の広さを感じられる景観も魅力。

見附市の主な取り組み ②「こどもと子育てを支える」

共創郷育の推進

R5年度 学校に関わった人
6,308人

自分の力で未来を切り拓き、たくましく生きていく力を養うため、学校と家庭、地域が総かりで子どもを育てる「共創郷育」を進めています。市内全学校に「地域コーディネーター」という地域の方を配置し、学校だけでは解決が難しい課題に取り組んだり、子ども達の教育に関わったりしています。

- 学校に関わった地域の人
H17年度 **701人** → R5年度 **6,308人**
- 地域と連携し教育を行う
「コミュニティ・スクール」(文部科学省)
全13校 で実施



プレイラボみつけ

R5年度利用者数
4万3千人

天候に関係なく子どもたちが思いきり身体を動かせる場所がほしいとの声を受け、旧商業施設の建物をリノベーションし整備した2階建て屋内施設。大型遊具や工作スペースを備え、放課後や休日に自由に過ごせる場となっています。



「プレイラボ」という愛称には、楽しみながら協調性や想像力を学んでいく場所、いろんな遊びを作り出す研究所との意味が込められています。

小学校米

全**8**小学校区

小学校区ごとの選りすぐりの農業者により栽培され、学校給食で提供されているコシヒカリを「小学校米」と名付け、ブランド米として商品化し販売しています。売上の一部は各小学校に寄付されます。



それぞれの地域で丹精込めて栽培されたコシヒカリが小学校米に。



子どもたちに「地消地産」の大切さを伝えることにもつながっています。

基幹地場産業

ニット産業への支援

男性用ニット製セーター他
出荷額 全国 **1** 位

MITSUKE KNIT ブランドの拡大支援やファクトリーアウトレット「プリメイラ」の運営支援を行い、産地のブランド力と知名度の向上を図っています。



MITSUKE KNIT



「プリメイラ」では高品質なニット製品をお得に買うことができます。「MITSUKE KNIT」オリジナル商品も販売。

見附市の主な取り組み ②「こどもと子育てを支える」

子育てしやすい 職場づくり支援

R5年度末時点
新潟県の制度（※）の認定
を受けた市内企業
17 社

子育て環境と職場環境の双方の観点から子育て世代を呼び込むため、新潟県の制度（※）に認定された市内企業に対し、奨励金の交付や育休を取得させた場合の助成を行うなど、子育てしやすい環境づくりを後押ししています。



（※）新潟県の制度：「ハッピー・パートナー企業 ババ・ママ子育て応援プラス」
→ 特に仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組む企業

わくわく体験塾

R5年度参加者
1,921人

夏休みを利用して学校間の枠を超えた異年齢交流活動を行い互いに協力し、相手を思いやる心を育てる事業です。学校・行政だけではなく、市内で活動している団体や個人、企業からも講座の開設と運営に参加してもらい、わくわく・どきどきする様々な体験を通じて児童生徒の健全育成に努めています。



見附市の主な取り組み ③「健幸づくりを支える」

住んでいるだけで健やかで幸せになれるまち

スマートウエルネスみつけ

自家用車に頼らず、徒歩や公共交通を使って生活できるまちづくりを進め、住んでいるだけで健やかで幸せになれるまち「スマートウエルネスみつけ」の実現に取り組んでいます。

公共施設や商業・医療施設がある3地区に施設を集約し整備、さらに3地区内で利便性の高いコミュニティバスを走らせることで、市民の足を確保。複数の目的地を自家用車に頼らず移動できるようにし、人との交流や歩数が自然と増えるようにしています。

市内を循環する

コミュニティバス

R5年度利用者
19万人



子育て支援の一環として、令和5年7月より市内在住の中学生以下の運賃を無料化しました。子どもたちの活動範囲の拡大を促し、地域の魅力発見や郷土愛の醸成につなげていきます。

地域医療体制の充実に向けて

診療所の積極的な誘致

R5.4月
3 医院開業
小児科・内科・精神科

医科診療所の新規開業に対して、特定の診療科目に関する上乗せを含め最大1,200万円の支援制度を用意しています。

○「外出したくなる施設」を3地区へ集約

見附地区	今町地区	見附駅周辺地区
商店街・市役所・市立病院 周辺地域 など	商店街を中心とした商業地域	東口・西口周辺地域

○自家用車に頼らず暮らせる「公共交通」



スマートウエルネスみつけを
若者や女性、子どもたちにも

みつけ子育てママ
健幸スマイルスタジオ

令和5年9月からネーブルみつけ内子育て支援センターで開始した、対面教室とオンライン教室による運動・交流・相談が一体となったプログラムです。妊婦さん、ママの健康づくりや子育て不安の解消につなげていきます。

全国12自治体で
連携



運動を通して、心身ともにリフレッシュ！



見附市の主な取り組み ④「暮らしの安心・安全を確保する」

全市一斉の総合防災訓練

過去10回参加者
約12万人

平成16年の「7・13水害」を教訓に、毎年6月に市内一斉の総合防災訓練を実施。中学生ボランティアも各地域の訓練に参加しています。



自衛隊が炊飯したご飯を使った避難所炊き出し訓練。



中学生ボランティアも参加した土のう積み訓練。

田んぼダム

100%実施で
床上浸水0hに

大雨時に下流域の農耕地や住宅地の洪水被害を軽減するため田んぼの排水口を小さくし、河川への水の流出を抑制することでダムの役割を持たせる取り組みです。



河川への流出量を従来の5分の1に抑え、下流域の洪水被害を軽減します。



一度設置すればその後の操作は不要。事業費も安く、効果が高い事業です。

防災スクール

R5年度開催校
全13校

小中学生を対象に、災害が発生した際に危険となる箇所の確認や服を着たまま浮く練習、避難所における支援や人命救助に係わる体験など、災害への対応力を養成しています。



服を着たまま浮く「着衣泳訓練」。



自分たちが考えた避難所空間を、実際に体育館で設置。

避難インフルエンサー

対象地域の
84%で選任済み

危険が迫っていても“逃げない”人の心を動かす決め手は、信頼できる人からの「口コミ」—— 浸水時に特に危険性が高い地域で、近所へ声掛けを行い共に避難行動を取る「避難インフルエンサー」の選任を進めています。

トイレトレーラー

清潔な洋式トイレ
4室備え付け

災害時のトイレ不足は、関連死を招いたり二次被害にもつながる深刻な問題です。見附市は災害時でも機動的に使える、4室のトイレを備えたトレーラーを令和2年度から導入しています。



要請を受けて能登町へ派遣 (R6.1月 能登半島地震)

見附市の主な取り組み ⑤「市民の皆様へ寄り添う」

書かない窓口

239 の
申請・手続きで運用

これまで申請書の記入が必要だった市役所での各種手続きを簡易化。職員が用件を聞き取りしシステム登録することで、来庁者は内容確認と署名だけで済むようになりました。聞き取り事項は市のシステム内で情報共有されるため、申請漏れをなくし、他の部署での手続きに円滑に引き継がれます。



- その他の効果
 - ・待ち時間・手続き時間の短縮
 - ・窓口移動回数の軽減
 - ・職員の窓口対応レベルの均一化
- など

ふれあい懇談会

月1回開催

市民と市長がさまざまなテーマで直接意見交換を行います。市の課題や市民が思う地域の将来像を把握し、ニーズに沿ったきめ細かな行政につなげます。



「子育て」や「移住者」などさまざまなテーマを設け提案や意見をお聞きます。



テーマ別の開催と並行し、コミュニティ単位（地区別）でも開催。

見附市の主な取り組み ⑥「あらゆる力を結集する」

地域コミュニティ

住民カバー率
100%

市内全11の地域コミュニティと連携を図りながら、地域課題の解決に取り組んでいます。

それぞれの地域の特性をふまえながらコミュニティ独自の発想で地域の活性化などを進めています。



- ①地域コミュニティの支援拠点として「ふるさとセンター」を全地域に設置（全てのセンターに職員を配置）し、その一画を活動拠点として提供
- ②活動資金として「地域ふるさとづくり活動交付金」を交付
 - ・均等割、人口割のほか、高齢者や子どもの人数に応じて交付金を算定
 - ・上記に加えて、地域課題に対して積極的に挑戦するための資金「チャレンジ枠」（R6予算額：440万円）を併せて交付
- ③コミュニティ活動に自由に使えるワゴン車を各1台無償貸与。運行に要する燃料費や維持管理費は市が負担



放課後児童クラブを運営する地域コミュニティもあります。



地域の交通課題の解決に向け、コミュニティワゴンを運行。

市民団体等との協働

ボラーレ 加盟団体
約100団体

見附市では、市民活動・ボランティア連絡協議会（愛称：みつけボラーレ）に約100もの団体が加盟するなど、市民団体やボランティア団体が活発に活動。活動範囲も福祉、社会教育、文化芸術、環境など多岐に渡っており、さまざまな分野で市民団体等と協働しまちづくりを進めています。



市民団体が管理する「市民の森」は自然観察の場としても人気です。



街路樹イルミネーション（全長1.3km）。市民の寄附とボランティアで設置。



みつけイングリッシュガーデンの植栽。市民団体「ナチュラルガーデンクラブ」が実施。



「みつけボラーレ」では定期的に情報交換交流会や視察研修を開催し、団体間の連携や活動範囲の拡大を促進。

見附市の主な取り組み ⑦「行財政を検証し必要に応じ見直す」

「性能発注」による施設整備

整備コスト
従来比41億円減

施設整備にあたり、従来の公共事業に多く見られた、発注者が詳細に仕様を指定する「仕様発注」ではなく、受注者の高い技術力や維持管理のノウハウを活用できる「性能発注」を採用、大幅なコストダウンを図りました。

青木浄水場

- ▶5か年事業（H28～R2年度） 総事業費：77.1億円
- ▶県内で初めて浄水場の更新事業にDBO方式を採用
- ▶従来型の発注方式と比べ、**22億円の経費削減**（建設費で9億円、20年間の運転維持管理費で13億円）



ごみ焼却施設

- ▶2か年事業（H29～30年度） 総事業費：52.4億円
- ▶DBO方式による事業者選定を採用
- ▶従来型の発注方式と比べ、**19億円の経費削減**（建設費で3.5億円、20年間の運転維持管理費で15.5億円）



民間活力を活かした公共施設の運営

市への納入額
累計約4,600万円

多くの公共施設で、民間ノウハウの活用による活性化や利用者ニーズに沿ったサービスの提供を狙い、指定管理者制度を導入しています。

うち3施設では、赤字の場合は全額指定管理者の負担、黒字の場合は収益の1/2を市に納入する仕組み（見附方式）を採っています。



市民交流センター ネーブルみつけ

撤退したスーパーをリノベーションし平成16年にオープン。健康運動教室や子育て支援センター、市のアンテナショップもあり、様々な人が利用する交流の拠点施設です。

【時間】9:00～21:45（年末年始休館）
【電話】0258-62-7801



R5年度来館者
40万人

道の駅 パティオにいがた

広大な芝生広場を備え、遠くには守門岳・粟ヶ岳を望む絶好のロケーションを誇ります。

災害時には、自衛隊やボランティアの活動拠点になります。

【時間】9:00～21:00（年中無休）
【電話】0258-94-6211



R5年度来場者
108万人

英国式庭園

みつけ イングリッシュガーデン

ガーデンを核とした市内全体での緑化活動が評価され英国の国民的園芸競技会「ブリテンインブルーム」で英国外で初の「ゴールドコミュニティ賞」を受賞！

本格的な英国式庭園で、バラの季節には息を飲むほど美しい光景が広がります。1,000種を超える植物が彩る四季折々の光景は感動的です。

【時間】8:40～日没（12～3月は閉園）
【電話】0258-66-8832



年間6万ポットを育苗し、公共施設や学校などへ配布しています。



カフェやお土産などの販売スペースを設けた「MEG CAFE 511」は通年営業。

見附市民ギャラリー ギャラリーみつけ

法務局をリノベーションした芸術振興の拠点施設。仕事帰りでも立ち寄ってもらえるように夜間も開館しています。

【時間】10:00～22:00（月曜日休館）
※令和5年4月より21:00閉館
【電話】0258-84-7755



R5年度来館者
19万人

みつけ 健幸の湯 ほっとぴあ

平成28年8月に9種のお風呂と遠赤外線サウナを楽しむことができる施設としてオープン。3階には県内屈指の規模を誇る岩盤浴施設があります。

【時間】8:00～23:00（年中無休）
【電話】0258-86-1126



見附今町・長岡中之島大風合戦



新潟県中部産業団地

見附市のあらまし

人口4万人の小さなまち見附市。市の中心を信濃川水系の刈谷田川が流れ、豊かな水と清涼な空気に恵まれています。豊かな自然、県内でも有数の田園地帯があり、春の芽吹き、夏の深緑、秋の紅葉と黄金色の稲穂そして冬の銀世界、四季折々の風情を味わうことができます。

人口の推移

各年とも4月1日時点（単位：人：世帯）

	R2	R3	R4	R5	R6
人口	40,099	39,842	39,315	38,881	38,408
世帯数	15,069	15,209	15,159	15,277	15,350

年齢別人口

4月1日時点（単位：人：％）

年齢3区分	男性	女性	合計	構成比率
15歳未満（年少人口）	2,212	2,013	4,225	11.0%
15～64歳（生産年齢人口）	10,729	10,313	21,042	54.8%
65歳以上（老年人口）	5,829	7,312	13,141	34.2%
合計	18,770	19,638	38,408	100.0%

産業

就業人口

各年とも10月1日時点（単位：人）

産業3区分	平成27年			令和2年		
	総数	男	女	総数	男	女
第一次産業	820	530	290	714	471	243
第二次産業	7,241	4,846	2,395	6,911	4,634	2,277
第三次産業	12,460	5,858	6,642	12,339	5,716	6,623

製造品出荷額

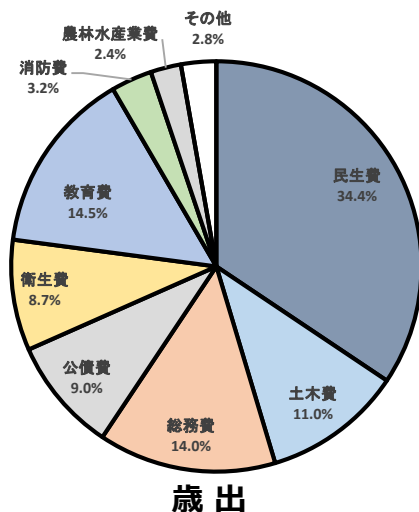
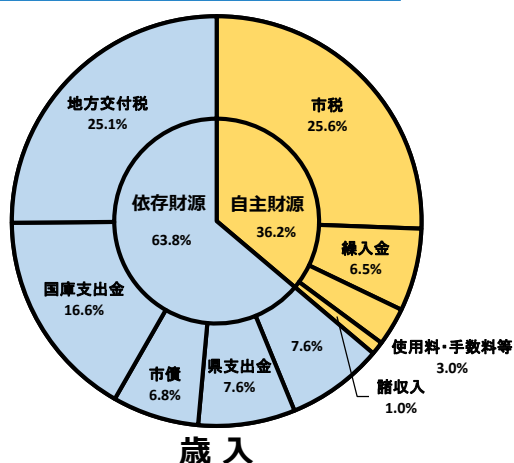
各年とも12月31日時点（単位：万円）

	平成22年	令和2年	増減率
製造品出荷額 総数	8,006,691	15,939,668	199.1%

古くは、ニット等の繊維産業を基幹産業として発展してきた見附市。近年では、県営中部産業団地への企業進出により、産業構造が多様化、製造品出荷額もここ10年でおおよそ倍増しています。

令和6年度 予算

○一般会計：189億1000万円



一般会計歳入内訳（単位：万円）

市税	48億3910
繰入金	12億3517
諸収入	1億9540
使用料・手数料等	5億6951
自主財源計	68億3918

地方交付税	47億5200
国庫支出金	31億3718
県支出金	14億4615
市債	12億9180
その他交付金等	14億4369
依存財源計	120億7082

一般会計歳出内訳（単位：万円）

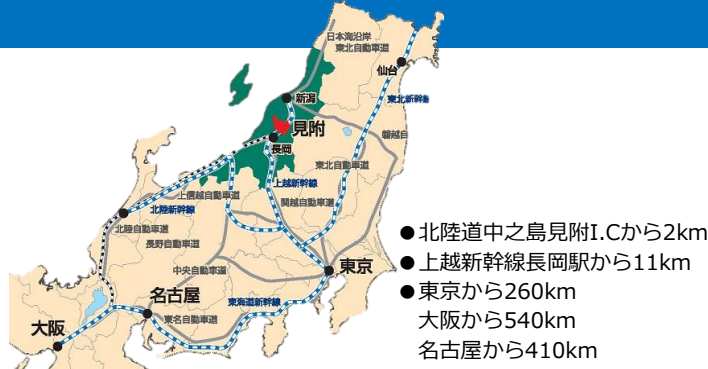
民生費	65億 390
土木費	20億7607
総務費	26億4757
公債費	17億 179
衛生費	16億4940
教育費	27億4296
消防費	6億1065
農林水産業費	4億5334
その他	5億2432
歳出計	189億1000

○特別会計

- 国民健康保険事業 30億5600万円
- 介護保険事業 45億2100万円
- 後期高齢者医療 5億4500万円
- 宅地造成事業 8300万円

○企業会計

- 水道事業 21億3100万円
- 病院事業 27億7800万円
- 下水道事業 35億4200万円



面積	周囲	広ぼう		海拔	
		東西	南北	最高	最低
77.91km ²	71.7km	11.5km	14.7km	300m	10m

気象（令和5年1月1日～令和5年12月31日）

- 年間平均気温 13.6℃（最高値 8月14日 38.7℃ 最低値 1月25日 -7.7℃）
- 年間降水量 2,101.0mm（日最大量 10月21日 64.5mm）

魅力的なまちづくりが評価され、数々の賞を受賞！

★SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業(R1)

どちらも県内初の認定！

- ★コンパクトシティ大賞(H29)
- ★プラチナ大賞(H29)
- ★先進的まちづくりシティコンペ(H30)
- ★ブリテンインブルーム
- ★ゴールドコミュニティ賞(R6)

英国以外で初の受賞！

★令和4年度市民アンケートでは

91.2% が

過去最高！

「住み良い」「どちらかという住み良い」と回答

